

施策番号	1601		
施策名	高齢者の尊厳を保つ社会の構築		
概要	世代を越えて支え合う社会の構築のため、長寿社会への理解と認識を深める取組を推進するとともに、高齢者の権利擁護に関する支援体制の充実を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・長寿社会部	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数(件)	a	c	86	97	100	97.0%	b	1.00
2	成年後見支援センター利用者数(人)	-	a	525	505	520	97.1%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを送れている。	23 4.4%	131 25.1%	215 41.3%	95 18.2%	57 10.9%	521	c
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					25 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一部の高齢者に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						25 年度	B
(原因分析) 【客観指標】●認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数については、平成23年度において、顕在化する市民ニーズに対応するため、制度の普及啓発に積極的に取り組んだ結果、過去最高値を大きく上回る実績を得たところであり、以降、引き続き制度の普及啓発に取り組んでいる。そのため、平成25年度は過去最高値を更新し、c→b評価と改善した。 ●成年後見支援センター利用者数については、平成24年度の開所以来、センターの周知・広報に積極的に取り組み、成年後見制度を必要とする方のセンター利用が図られていることから、目標値を若干下回ったものの、a→b評価と安定している。 【市民の実感】高齢者のくらしが充実したものとして、広く実感されていないことから、4割を超える方がどちらとも言えないと回答しており、昨年度に引き続きc評価となった。						24 年度	B

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	軽費老人ホーム(ケアハウス)利用料補助	444,289	459,061	普通	保健福祉局
2	特別日用品費支給	23,498	24,372	良い	保健福祉局
3	短期入所生活介護緊急利用者援護事業	73,679	83,090	良い	保健福祉局
4	日常生活用具給付等事業	24,657	23,398	普通	保健福祉局
5	家族介護用品給付事業	131,017	140,040	良い	保健福祉局
6	徘徊高齢者あんしんサービス事業	3,209	3,565	悪い	保健福祉局
7	入浴サービス助成事業	5,636	11,628	普通	保健福祉局
8	高齢外国籍市民福祉給付金支給事業	28,807	27,804	良い	保健福祉局
9	認知症高齢者等権利擁護推進事業	33,908	45,987	良い	保健福祉局
10	高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成事業	2,193	2,193	良い	保健福祉局
11	認知症あんしん京(みやこ)づくり推進事業	9,449	6,062	かなり良い	保健福祉局
12	～地域で気づき・つなぎ・支える～認知症総合支援事業	18,855	21,435	良い	保健福祉局
13	高齢者虐待防止事業	8,368	8,853	普通	保健福祉局
14	虚弱高齢者等入浴支援モデル事業助成	229	300	かなり良い	保健福祉局
15	孤立死防止推進事業	594	1,328	悪い	保健福祉局
16	高齢者虐待シェルター確保事業	1,248	1,538	良い	保健福祉局
17	京都市長寿すこやかセンター	136,274	199,975	－	保健福祉局
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

●今後とも成年後見制度の普及・啓発に努めるとともに、関係機関・団体と連携しながら、申立支援や市民後見人の養成、法人後見に対する支援など、権利擁護対策を積極的に推進し、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる社会の実現に向け、取り組んでいく。

施策名	1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築				
指標名	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数（件）					
担当課	長寿福祉課		連絡先	251-1106		
1 指標の説明						
成年後見制度の利用が必要な身寄りのない重度の認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数						
2 指標の意味						
判断能力が不十分な認知症高齢者のための権利擁護の状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：京都市における申立て件数 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	86	97	11件増	100	過去5年間の申立件数最高値の10%増	97.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
単年度目標に対する達成率が、 a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
成年後見制度利用に係る市民ニーズに対応するため、当面申立件数を増加させる必要があることから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。 最高値：91件（平成23年度）						
7 評価結果						
242526						
a c b						

指標名	成年後見支援センター利用者数（人）					
担当課	長寿福祉課		連絡先	251-1106		
1 指標の説明						
成年後見制度を必要とする方の発見から利用までの一貫した支援を行う成年後見支援センターを利用した方の実人数						
2 指標の意味						
成年後見制度の利用を必要とする方に対する支援の推進状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	525	505	20件減	520	第5期京都市民長寿すこやかプランに掲げる当該年度目標値	97.1%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		630	26年度	80.2%	第5期京都市民長寿すこやかプラン	
5 評価基準						
単年度目標に対する達成率が、 a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
成年後見制度に対する市民ニーズに対応するため、「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に定める目標値を達成する必要があることから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
242526						
- a b						